

2021年5月6日

Okta Japan 株式会社

Auth0 株式会社

(米国報道発表資料抄訳：2021年5月3日現地時間)

報道関係者各位

【抄訳】 Okta、Auth0 の買収を完了

～開発者とエンタープライズの専門知識を結合し、顧客にさらなる柔軟性を提供～

アイデンティティ管理のサービスプロバイダーである Okta, Inc. (本社：米国・サンフランシスコ 以下 Okta) は、アプリ開発者向けアイデンティティプラットフォームを提供する Auth0 Inc. (本社：米国・ベルビュー、以下 Auth0) の買収が完了したことを発表します。Okta と Auth0 が一緒になることで、デジタル・アイデンティティの幅広いユースケースに対応しながら、安全なアクセスを提供し、誰もがあらゆるテクノロジーを安全に利用することを可能にします。今回の約 65 億ドル相当の株取引による買収により、800 億ドル規模のアイデンティティ市場における Okta の成長を加速させます。

Auth0 は、Okta 内で独立したビジネスユニットとして運営され、Auth0 の最高経営責任者 (CEO) 兼共同創業者であるユーヘニオ・ペース (Eugenio Pace) が指揮を執ります。ユーヘニオ・ペースは、Okta の最高経営責任者 (CEO) 兼共同創業者であるトッド・マッキノン (Todd McKinnon) の直属となります。Okta と Auth0 の両プラットフォームは、今後もサポートされ、投資を行い、時間をかけて統合されます。それにより、イノベーションを加速させ、Okta Identity Cloud を様々なお客様やユーザーのためにより魅力的なものにしていきます。

トッド・マッキノンは次のように述べています。「アイデンティティは、企業が今日行う最も戦略的な投資の一つです。単一の統一されたアイデンティティプラットフォームは、顧客と従業員の両方にシームレスで安全なアクセスを可能にすることによって、組織を変革する力を持っています。Okta と Auth0 は、常にアイデンティティ市場に対するビジョンを共有してきました。私たちは両社ともクラウドファーストであり、カスタマーファーストの企業です。一緒になることで、お客様により多くの選択肢と柔軟性を提供し、これまでになく価値を提供することで、お客様がイノベーションを加速できるようにします。私たちは共に、インターネット上のアイデンティティの未来を形作り、開発者がアイデンティティを基盤として構築できるようにしてまいります。」

ユーヘニオ・ペースは次のように述べています。「今日、Okta と Auth0 が一緒になり力を合わせることで、すべての人に安全なアクセスを提供するという共通のビジョンを実現できると、これまで以上に確信しています。」

Auth0 は常に製品開発者のイノベーションを促進することに注力してきましたが、今後は共通のビジョンを持ち、リソースを結集した 1 つの企業として、イノベーションをさらに加速させてまいります。」

Okta と Auth0 の包括的かつ補完的で柔軟なアイデンティティプラットフォームは、対象者やユーザーを問わず、あらゆるアイデンティティのユースケースを解決します。Okta はクラウドベースのアイデンティティの先駆者であり、エンタープライズ組織にふさわしい信頼性と世界基準のセキュリティを提供すると同時に、あらゆる規模の組織のカスタマーサクセスを優先して取り組んできました。Auth0 は、開発者のために開発者によって作られました。世界中のアプリ開発者は、Auth0 の拡張性、使いやすさ、優れたドキュメンテーション、そして開発者目線の体験を求めて Auth0 を活用しています。開発者コミュニティとエンタープライズ分野の専門知識を統合することで、Okta と Auth0 は、より深く、より幅広いアイデンティティソリューションを提供し、今日の開発者の最新技術スタックに迅速に統合する上でさらに適したものとなります。

Kiva のエンジニアリング担当 EVP である Ken Leung 氏は、次のように述べています。「Kiva では、世界中のサービスの行き届いていないコミュニティの繁栄を支援するために、資金面でのアクセスを拡大するという使命を担っています。アイデンティティはそれを実現する上で重要な役割を果たします。現在、Auth0 を活用して Kiva のパートナーと貸し手に安全な認証を提供し、Okta を活用して従業員のアイデンティティを提供し、チームがネットワーク内の何百万ものグローバル起業家に最適なサービスを提供するために必要なテクノロジーにアクセスできるようにしています。Okta と Auth0 が私たちの人材とテクノロジーをつなぐことに対して信頼を置いており、今後いかに進化し、革新していくのか楽しみにしております。」

IDC のサイバーセキュリティ製品担当プログラムディレクターである Jay Bretzmann 氏は、次のように述べています。「デジタル世界ではお互いのアイデンティティを明確にするところに信頼が置かれます。Okta と Auth0 は、それを支援するのに必要なクラウド対応の開発者向けツールを提供しています。そして、私たちが次のステップに進むために必要なシンプルで顧客中心のプラットフォームとテクノロジーを構築しています。」

業績見通し

Auth0 の買収完了に伴い、Okta は米国時間 2021 年 5 月 26 日（水）に、2022 年会計年度の第 1 四半期決算発表とともに、2022 年会計年度の業績見通しを発表する予定です。Okta は同日の米国太平洋標準時午後 2 時（米国東部標準時間では午後 5 時）にオンライン配信にて、業績と最新の業績見通しについて説明します。動画は、Okta の投資家向け広報ウェブサイト (<https://investor.okta.com>) からご覧いただけます。プレスリリースは、イベント開始前に Okta の IR サイトでご覧いただけます。

アドバイザー

Okta の財務アドバイザーは、Morgan Stanley & Co. LLC、法律顧問は Latham & Watkins LLP が務め、Auth0 の財務アドバイザーは Qatalyst Partners、法律顧問は Perkins Coie LLP が務めます。

将来の見通しに関する記述についての注意事項

本プレスリリースには、本取引から得られると予想される利益、本取引の結果として予想される Okta の成長の加速、Okta Identity Cloud への影響、Okta の顧客ベースの取引と拡大から期待される相乗効果に関する記述を含む、期待、計画、見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、このリリース日現在の Okta の経営陣の現在の期待と信念に基づいており、実際の結果が将来の見通しに関する記述に記載されているものと大幅に異なる可能性がある特定のリスクと不確実性の影響を受けます。これらには、不利で予測不可能なマクロ経済状況のリスク、Okta と Auth0 の間の運用の期待される相乗効果と効率の達成の失敗、Okta と Auth0 のそれぞれのビジネスの統合を成功させる能力、タイムリーな開発と統合されたビジネスの市場での受け入れ達成の失敗、Auth0 の顧客の喪失、Okta と Auth0 の間で戦略とリソースを調整する機能、Auth0 の主要な従業員を維持および動機付ける Okta と Auth0 の能力に関するリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。実際の結果がこれらの将来の見通しに関する記述と大きく異なる可能性があるその他の要因については、Okta が 1 月に終了した会計年度の Form 10-K の年次報告書を含め、証券取引委員会に提出するレポートに随時詳しく説明されています。本プレスリリースのすべての将来の見通しに関する記述は、本日付の時点で Okta が入手できる情報に基づいており、Okta はこれらの将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

Okta について

Okta は、すべての人のアイデンティティとアクセスを安全に管理するベンダーニュートラルなサービスプロバイダーです。Okta が提供するプラットフォーム「Okta Identity Cloud」により、クラウド、オンプレミスを問わず、適切な人に適切なテクノロジーを適切なタイミングで安全に利用できるようにします。7,000 以上のアプリケーションとの事前連携が完了している「Okta Integration Network」を活用して、あらゆる人や組織にシンプルかつ安全なアクセスを提供し、お客様の潜在能力を最大限発揮できるように支援します。JetBlue、Nordstrom、Siemens、Slack、T-Mobile、Takeda、Teach for America、Twilio を含む 10,000 以上のお客様が Okta を活用して、職場や顧客のアイデンティティを保護しています。

Auth0 について

Auth0 は、アプリケーション、デバイス、ユーザーの認証、認可、そして安全なアクセスのためのプラットフォームを提供しています。セキュリティやアプリケーションチームは、Auth0 のシンプルさ、拡張性、そして専門知識を活用して、誰もが使えるアイデンティティを実現しています。Auth0 は、毎月何十億ものログインランザクションを保護し、アイデンティティを確保することで、イノベーターがイノベーションを起こせるようにし、グローバル企業が世界中の顧客に信頼できる優れたデジタル体験を提供できるようサポートします。